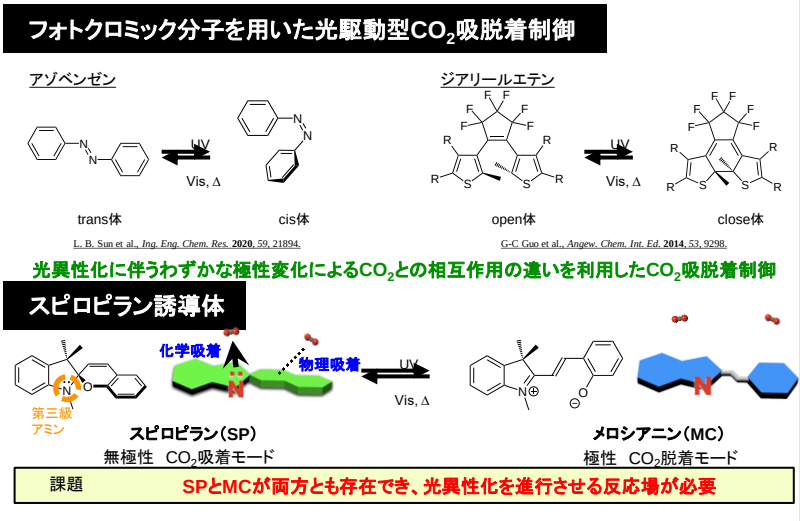
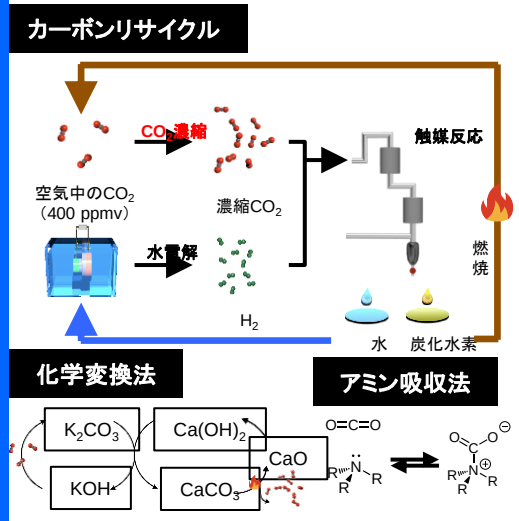


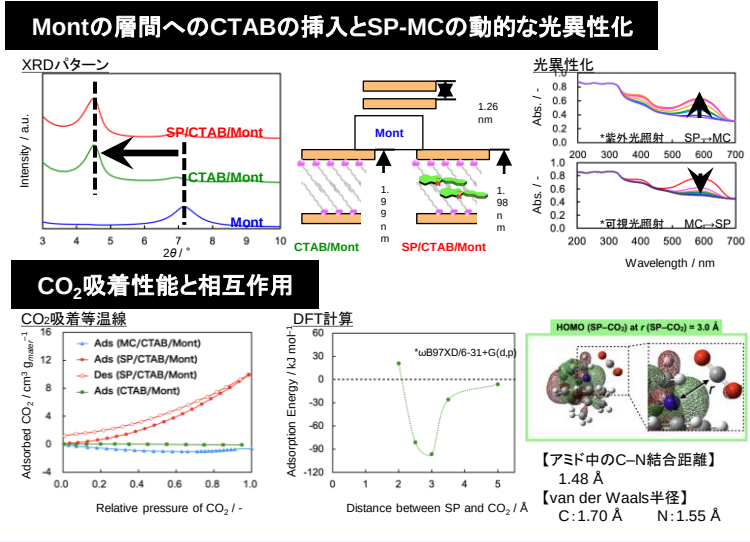
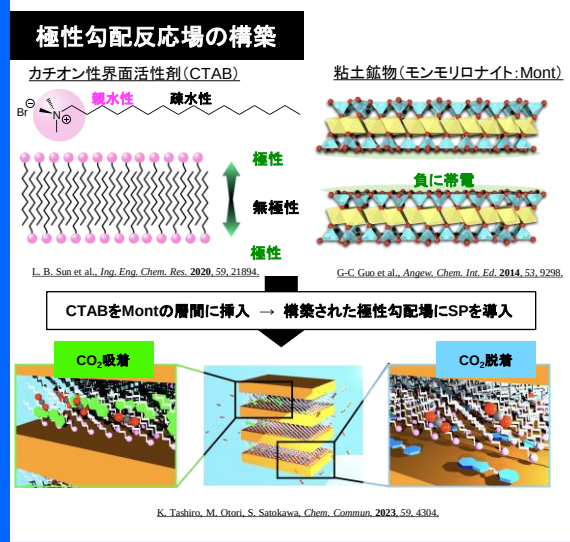
極性勾配反応場の構築により活性化されたスピロピランを用いた光誘起CO₂吸脱着スイッチング

Keyword： 反応場、フォトクロミック分子、二酸化炭素吸着

研究の概要



アピールポイント



研究者の夢

現在は新たな物質を開発することで優れた機能を示す材料が開発されている。しかし、機能の発現の度合いは時と場合による。物質開発の戦略では、その機能の発現の強さを制御することは困難である。一方で、物質の機能発現は周囲環境に依存するため、物質周辺の環境、すなわち「反応場」を変化させることで、その機能発現の度合いは変化する。私は最終的には1つの材料があらゆる場面で使用できるようなシステムを提唱したいと考えている。



田代啓悟

学術院 工学領域
化学バイオ工学系列
助教

技術相談に応じられる関連分野

- 超分子化学(分子集合体)
- 光化学
- 水の電気分解

その他の研究紹介

- 光触媒反応(有機材料および無機材料の双方)
- 中性条件下での純水の水電解による水素製造
- π共役系分子の自己集合体の作製および相互作用の解析